

令和2年度当初予算 歳出(教育委員会)

(単位:千円)

款	項	令和2年度 当初予算額	令和元年度 7月現計予算額	差引増減	
3 福祉生活費	2 児童福祉費	19,231	18,817	414	
10 教育費	1 教育総務費	5,375,158	5,285,086	90,072	
	2 小学校費	40,190,208	39,915,228	274,980	
	3 中学校費	23,755,899	24,381,547	△ 625,648	
	4 高等学校費	28,515,847	29,430,053	△ 914,206	
	5 特別支援教育費	12,569,322	10,661,732	1,907,590	
	7 社会教育費	1,771,280	1,651,526	119,754	
	8 保健体育費	1,201,782	2,495,090	△ 1,293,308	
11 災害復旧費	3 県立学校施設 災害復旧費	110,000	110,000	0	
教育委員会 計		113,508,727	113,949,079	△ 440,352 (△0.4%)	
	うち事業費	構成比	(13.1%)	(13.4%)	(△2.7%)
		金額	14,863,906	15,269,378	△ 405,472
	うち人件費	構成比	(86.9%)	(86.6%)	(0.0%)
		金額	98,644,821	98,679,701	△ 34,880

<参考>

県予算額に占める教育委員会 予算額の割合	17.3%	17.6%	
県 予 算 額	654,863,000	646,342,000	(1.3%) 8,521,000

令和2年度 教育委員会当初予算(一般会計)の概要

I 予算のポイント

1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

【基本方針】

全国学力・学習状況調査において、小・中学校の平均正答率がともに全国平均を上回る等、学力向上の取組は成果が現れているものの、中学校の英語には伸び悩みが見られることから、引き続き学力向上の取組を推進します。高校では、高大接続改革、学習指導要領の改訂及び大学入学共通テストを見据えた授業改善や世界に通用するグローバル人材の育成を図るとともに、地域に信頼され選ばれる学校となるよう、魅力・特色ある学校づくりを推進します。

着実に向上している体力については、運動する子どもとそうでない子どもの二極化が課題であることから、運動習慣の定着に向けた取組を推進します。また、多様化・深刻化する子どもの健康課題の解決に向けた取組を推進します。

特別支援教育においては、障がいのある子どもの自立や社会参加に向け、一人一人の教育的ニーズに応えられるよう、教職員の専門性の向上と教育環境の整備を推進することにより障がいのある子どもと障がいのない子どもが可能な限り共に学べるインクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮の適切な提供を実施します。また、障がいのある子どもの進路実現のため、進学・就労支援体制を一層強化します。

不登校児童生徒数が増加傾向であることから、未然防止対策の推進と早期対応の徹底を図るとともに、福祉関係機関等と連携し、不登校児童生徒の学校復帰・社会的自立等に向けた支援を充実します。

学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、課題となっている長時間勤務の改善に取り組み、子どもと向き合える時間の確保を図ります。

(1) 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

学力向上においては、これに組織的に取り組む市町村教育委員会を支援するとともに、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力等」の双方を育成するため、小・中・高等学校を通じた「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善の取組を推進します。特に中学校では、「中学校学力向上対策3つの提言」の実現に向けた取組を推進し、学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底と、優れた教員の活用等による若手教員の授業力向上を行うことにより、子どもたちの「学びに向かう力」と「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」の育成を図ります。また、中学校英語教育の指導力強化のための研修体制を整えます。

健康・体力づくりにおいては、児童生徒のバランスのとれた体格づくりに向けた個別支援策を推進するとともに、部活動指導員や総合型地域スポーツクラブ等を活用した部活動指導の充実を図り、中高生における運動習慣の定着化を推進します。

特別な支援を必要とする子どもの自立や社会参加を促進するため、「個別の指導計画」の作成・活用の推進やICT機器を活用したきめ細かな指導の充実など、一人一人の教育的ニーズに応じた教育環境を整備するとともに、「第三次大分県特別支援教育推進計画」に基づき、特別支援学校の再編整備を進めます。また、特別支援学校高等部卒業生に県立学校等での勤務を一定期間経験させ、一般就労に必要なスキルと労働習慣の習得を支援します。

子どもの科学に関する好奇心や探求心を育むため、「体験型子ども科学館0-Labo」において先進的な講座を実施するとともに、地域拠点で講座を開催します。

(2) グローバル社会を生きるために必要な意欲と能力を備えた人材の育成

海外高校との交流促進、国内外で活躍する人物に触れる機会の創出、海外留学や海外大学への進学に向けた機運醸成等を図ることにより、世界に通用するグローバル人材の育成を推進します。また、小学校英語教育の導入に対応した指導力向上と指導体制の充実を図ります。

(3) 安全・安心な教育環境の確保

いじめ問題への対応や、家庭環境に起因する不登校など様々な課題を抱える子どもたちを支援するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充します。また、いじめや不登校を生まない魅力ある学校づくりのため、「人間関係づくりプログラム」を普及・推進します。

生涯を通じて災害の脅威から身を守る人材を育成するため、ボランティアなどを行う部活動や生徒会を通じた生徒中心の主体的な防災活動を推進します。

(4) 信頼される学校づくりの推進

学校現場を取り巻く課題が複雑・多様化し、長時間勤務が課題となる中、教員の心身の負担が増大していることから、教員の事務サポートや部活動の指導等への外部人材の活用、研修のWeb化による負担軽減など、学校における「働き方改革」を進め、教員の負担軽減による教育の質の向上を図ります。また、教員が産休・育休を取得しやすい環境を整えます。

(5) 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

子どもや学校を取り巻く課題に社会全体で対応するため、学校・家庭・地域の連携をより一層強化することにより、地域学校協働活動を推進します。

地域で活躍する女性団体への支援を通じて地域課題を住民主体で解決する自主的・継続的な地域づくりを推進します。

多文化共生を実現するため、社会教育施設等において外国人に「迅速に、正確に、簡潔に」情報を伝える「やさしい日本語」の学習機会を提供するとともに、社会教育関係職員を対象とする研修を行います。

2 芸術文化による創造県おおいとの推進

【基本方針】

文化財・伝統文化を県民共有の財産として適切に保存・管理するとともに、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催を契機として高まった歴史・文化への興味・関心を維持・向上させるため、文化財・伝統文化を積極的に活用します。

(1) 芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり

文化活動を通じた相互理解の促進と障がいの有無に関わらない発表の機会の創出のため、特別支援学校と県立高校の同世代交流を進め、作品の共同制作や共同展示を行います。

(2) 文化財・伝統文化の保存・活用・継承

国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭を契機とした歴史・文化への関心の高まりを維持するとともに、より深く学べる機会を提供するため、歴史博物館等で最新の映像技術を活用します。また、地域における文化財の計画的な保存・活用を推進するため、指針となる大綱を策定します。

3 スポーツの振興

【基本方針】

健康寿命日本一の実現に向けて、より多くの県民が生涯にわたり日常的にスポーツに親しむことのできる機会を充実するとともに、トップアスリートへの重点的な支援など、競技力向上に向けた取組を推進します。

(1) ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承

ラグビーワールドカップ2019のレガシーを着実に継承するため、世界のトップコーチ等を招聘し、ラグビークリニックを開催するとともに、拠点型運動部活動の創設支援などによるジュニア層へのラグビー競技の普及・定着を図ります。また、来県国・地域の高校生とWeb会議等を通じた遠隔交流を実施します。

(2) 県民スポーツの推進

武道スポーツセンターの活用を通じてスポーツに親しむ機会を充実させるとともに、総合型地域スポーツクラブを中心に、県民が身近な地域で日常的にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。

(3) 世界に羽ばたく選手の育成

優秀選手に対して必要な能力開発や育成プログラム等を実施するとともに、全国大会等での活躍が見込まれる競技において、選手の効果的な育成・強化を行います。

II 事業体系（県政推進指針）

3 発展 一人を育み基盤を整え発展する大分県

（1）生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

①子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

—	未来を創る学力向上支援事業	602,683
—	特 O I T Aの未来を担う子ども育成事業	9,736
—	特 スクールヘルスサポート事業	1,577
—	幼児教育推進体制充実事業	13,481
—	学びの接続推進事業	20,161
—	特 大分地区特別支援学校再編推進事業	7,562
—	特別支援学校キャリアステップアップ事業	72,867
—	特 未来を拓く学校づくり事業	21,568
—	子ども科学体験推進事業	32,545
—	帰国・外国人児童生徒日本語教育推進事業	6,459
—	全国産業教育フェア大分大会開催事業	42,090
—	大分の農林水産業を牽引する担い手育成推進事業	33,175
—	キャリアプロデューサー活用推進事業	10,356

②グローバル社会を生きるために必要な意欲と能力を備えた人材の育成

—	小学校英語教育推進事業	1,273
—	グローバル人材育成推進事業	17,797
—	おおいたワールドワイド・アカデミー事業	13,211

③安全・安心な教育環境の確保

—	特 いじめ・不登校等防止推進事業	172,509
—	いじめ・不登校等解決支援事業	184,673
—	スクールソーシャルワーカー活用不登校等対策事業	69,499
—	特 不登校児童生徒教育支援事業	29,691
—	学校防災教育推進事業	6,968
—	県立学校施設整備事業	3,675,261
—	県立学校施設災害時緊急対応事業	110,000

④信頼される学校づくりの推進

—	地域の高校魅力化・特色化推進事業	35,000
—	教員業務サポートスタッフ活用事業	66,248
—	学校部活動充実支援事業	40,163
—	教育庁ワークセンター設置運営事業	95,428
—	特 教員の産休・育休取得促進事業	39,141
—	特 働き方改革に向けた教職員W e b 研修推進事業	21,798
—	高等学校等奨学金貸与事業	83,478
—	公立高等学校等奨学金給付事業	299,506

⑤変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

—	新 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業	88,621
—	特 女性の地域活動活性化支援事業	3,319
—	新 外国人とのコミュニケーション拡大事業	3,450

(2) 芸術文化による創造県おおいたの推進

①芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり

—	特 みんなでつくる文化活動推進事業	4,227
---	-------------------	-------

②文化財・伝統文化の保存・活用・継承

—	楽しく学べる博物館づくり推進事業	42,668
—	文化財保存活用推進事業	7,850

(3) スポーツの振興

①ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承

—	特 ラグビー競技普及振興事業	13,843
---	----------------	--------

②県民スポーツの推進

—	地域スポーツ活動推進事業	5,711
---	--------------	-------

③世界に羽ばたく選手の育成

—	新チーム大分強化事業	127,422
—	スポーツ大分パワーアップ事業	110,000
—	新 全国高等学校総合体育大会開催費補助事業	2,000

(注) 事業名前の「特」は令和挑戦枠事業を、「新」は新規事業を示す。

令和2年度当初予算の概要（教育委員会の主な事業）

（単位：千円）

事業名	令和2年度 当初予算額 〔元年度7月補正後 予算額〕	当初予算の概要	所管課
1 教育庁ワークセンター設置運営事業	95,428 (8,841)	特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、教育庁内にワークセンターを設置し、労働習慣や必要なキャリアの習得を支援する。 【特】障がい者雇用を促進し教育現場での働き方改革を推進するため、新たに県立学校や県立図書館などの教育機関において障がい者スタッフを雇用する。 ・雇用先 教育庁(11人)、県立学校(25人)、教育機関(7人) ・雇用期間 最長5年間(1年更新) ※特別支援学校卒業後、一般就労を目的とする者については最長3年間(1年更新)	教育人事課
2 教員業務サポートスタッフ活用事業	66,248 (39,347)	教員の事務負担を軽減し、子どもと授業に向き合える環境を整えるため、事務作業を支援するスクールサポートスタッフを小中学校等に配置する市町村に対し助成する。 ・配置校 46校 (小学校26校、中学校19校、義務教育学校1校) ・補助率 10/10(国1/3 県2/3)	教育人事課
3 特 教員の産休・育休取得促進事業	39,141 (0)	教員が産休・育休を取得しやすい環境を整備するため、代替教員を早期配置し、ゆとりある引継期間を確保する。 ・休暇・休業期間に入る1～4か月前の代替教員配置	教育人事課
4 特 働き方改革に向けた教職員Web研修推進事業	21,798 (0)	効果的・効率的な研修の実施と集合研修削減による教職員の負担軽減のため、ICTを活用したWeb研修システムを導入する。	教育人事課
5 公立高等学校等奨学金給付事業	299,506 (306,167)	保護者の経済的理由による修学機会の喪失を防止するため、修学意欲のある高校生等に対し奨学金を給付する。 ・対象 住民税非課税世帯 第1子 年額 84,000円 (82,700円→84,000円へ増額) 第2子以降 年額129,700円 生活保護受給世帯(修学旅行費相当分) 年額 32,300円 【新】専攻科の生徒に対し奨学金を給付する。 ・対象 住民税非課税世帯及び生活保護受給世帯 年額 36,500円	教育財務課
6 県立学校ICT活用授業推進事業	156,853 (184,501)	令和4年度の新学習指導要領実施に向けて生徒の情報活用能力を育成するため、県立学校にICT教育環境を整備するとともに、ICTを活用した効果的な授業の着実な実施につなげる教科別研修会等を開催する。 ・電子黒板の整備(167教室) ・タブレット型端末の配備(3,938台) ・プレゼンテーション実践教室の整備(3教室) など	教育財務課
7 県立学校施設整備事業	3,675,261 (3,303,050) +元年度2月補正 予算計上予定	教育環境の改善を図るため、老朽化した校舎等の新增改築・大規模改造など県立学校の施設や設備の整備を行う。 ・大規模改造(大分南高校など8校) ・第三次特別支援教育推進計画に基づく施設整備 (高等特別支援学校及び新豊学校校舎の建設等) 【新】国東高校環境土木科に係る実習室の整備 など 〔債務負担行為 2,509,869千円〕	教育財務課
8 特 いじめ・不登校等防止推進事業	172,509 (0)	不登校の未然防止や児童生徒への支援の充実を図るため、市町村のアクションプランを踏まえ、拠点校に地域児童生徒支援コーディネーターを配置する。 ・地域児童生徒支援コーディネーターの配置(22人) ・「大分県いじめ問題子どもサミット」の開催 ・人間関係づくりプログラム研修会の開催(2回) など	学校安全・安心支援課

事業名	令和2年度 当初予算額 〔元年度7月補正後 予算額〕	当初予算の概要	所管課
9 いじめ・不登校等解決支援事業	184,673 (148,306)	児童生徒や保護者の悩み等に対応するため、専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを小・中・高等学校・特別支援学校に配置する。 ・スクールカウンセラーを全公立小中高・特別支援学校に配置 【特】特別支援学校への配置時間数の増（週2時間/校→4時間/校） ・学校事故等に対する法的助言等を行うスクールロイヤーの活用など	学校安全・安心支援課
10 スクールソーシャルワーカー活用不登校等対策事業	69,499 (45,548)	貧困など家庭環境に起因する不登校等の未然防止、解決に向け、早期に福祉事務所等の関係機関へ繋ぐ体制の充実・強化を図るため、社会福祉士等の資格を持つスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置する。 【特】SSWへの助言を行うスーパーバイザーの配置（2人） 【特】不登校等の諸課題を抱える中学校区への重点配置（週4日）など	学校安全・安心支援課
11 特 不登校児童生徒教育支援事業	29,691 (0)	不登校が長期化している児童生徒に対して、学校以外の場における教育機会の確保など支援の充実強化を図るため、県教育支援センター「ボランの広場」の機能を強化する。 ・児童生徒・保護者の相談に対応するアドバイザーの配置（5人） ・ICTを活用して家庭学習支援を行う家庭学習支援員の配置（2人） ・小・中・高校生に対する補充学習教室の実施（県内6か所）など	学校安全・安心支援課
12 学校防災教育推進事業	6,968 (3,973)	災害の脅威から身を守り、地域で共に助け合うことができる人材を育成するため、より実践的な防災教育や避難訓練の実施、安全マップの作成等の防災学習を行う。 ・防災教育モデル校（4校）での防災学習等の実施 ・校内研修に防災専門家を派遣する学校防災出前講座の実施 ・防災教育を行う教員（防災教育コーディネーター）の養成 【特】防災活動に主体的に取り組む高校生防災リーダーの養成	学校安全・安心支援課
13 未来を創る学力向上支援事業	602,683 (500,780)	小・中学校での学力向上を図るため、客観的な数値目標を盛り込んだ推進計画を策定し、組織的な授業改善に取り組む市町村に対し、習熟度別指導推進教員（38人）、小学校教科担任制推進教員（30人）を配置する。 基礎・基本の定着に加え、活用力の理解度を把握するため、学力定着状況調査（小5及び中2）を実施する。 【新】中学校英語科における授業力パワーアップ研修の実施（24回） 〔債務負担行為 40,562千円〕	義務教育課
14 特 OITAの未来を担う子ども育成事業	9,736 (0)	小・中学校におけるキャリア教育の充実を図るため、自らの考えや活動内容を記録する「キャリア・パスポート」を全ての小・中学生に配布するとともに、地域の産業・人的資源を活用した講演会等を実施する。 ・中学生と高校生合同での企業訪問及び仕事紹介動画作成（3地域） ・地域学習の成果を相互に発表する「OITAふるさと学習交流会」の開催 ・世界で活躍する講師による中学生を対象とした講演会 など	義務教育課
15 幼児教育推進体制充実事業	13,481 (11,605)	幼児教育施設（幼稚園・認定こども園・保育所）における幼児教育の質の向上を図るため、幼児教育研修の支援や幼小接続に関する研修等を行う。 ・幼児教育アドバイザーの配置（3人） ・キャリアステージ別研修の開催（2回） 【新】市町村幼児教育アドバイザー養成研修の開催（5回） 【新】園内リーダー養成研修の開催（5回） など	義務教育課
16 特別支援学校就労支援事業	31,868 (27,667)	特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、就労支援アドバイザー（8人）を配置するとともに、就職に向けた生徒及び保護者の意識改革や企業からの評価向上につながる職業教育を実施する。 ・学習成果や職業技能などを発表するワーキングフェアの開催 ・保護者向け進路講演会の開催 など	特別支援教育課
17 特別支援学校キャリアステップアップ事業	72,867 (33,563)	特別支援学校生徒の一般就労を促進するため、卒業生を県立学校に一定期間雇用し、労働習慣や必要なキャリアの習得を支援する。 ・雇用先 高等学校（13人）、特別支援学校（12人） ・雇用期間 最長3年間（1年更新） ※初年度は特別支援学校、2年目以降は高等学校で勤務	特別支援教育課

事業名	令和2年度 当初予算額 (元年度7月補正後 予算額)	当初予算の概要	所管課
18 特 大分地区特別支援学校再編推進事業	7,562 (0)	第三次大分県特別支援教育推進計画に基づく大分地区での特別支援学校再編を実施するため、高等特別支援学校の令和4年度開校に向け説明会開催等の準備を進める。 〔債務負担行為 3,891千円〕	特別支援教育課
19 地域の高校魅力化・特色化推進事業	35,000 (35,000)	地域の高校が中学生から選ばれる学校、地域の活力となる学校となるため、地域資源を活用した探究学習の実践など地域と連携した取組を強化する。 ・高校を核とした「地域未来創生プロジェクト」の実施 1プロジェクト 上限額100万円 (1校あたり最大3プロジェクトまで)	高校教育課
20 全国産業教育フェア大分大会開催事業	42,090 (9,273)	産業教育の充実・発展を図るため、高校生が日頃の学習成果を発表する「全国産業教育フェア大分大会」を開催する。 ・開催予定日 令和2年10月24日(土)、25日(日) ・開催会場 別府ビーコンプラザ、J:COMホルトホール大分、昭和電工武道スポーツセンター、国際調理フアールレッジ ・主な内容 ロボット競技大会、介護技術コンテスト、フアールレッジコンテスト、世界農業遺産発表会 など	高校教育課
21 大分の農林水産業を牽引する担い手育成推進事業	33,175 (38,074)	本県の農林水産業を牽引する力強い担い手を育成するため、先進的な農業者や大学等と連携して、農林水産高校生を対象とした実践的な研修等を行う。 ・くじゅうアグリ創生塾における実践的な研修の実施(約150日) ・くじゅうアグリ創生塾と県内農業系高校(9校)を結ぶ遠隔授業の実施 ・グローバルGAP認証取得の推進 など	高校教育課
22 特 未来を拓く学校づくり事業	21,568 (0)	STEAM教育を推進し、社会の変革(イノベーション)を起こす人材や地域社会に求められるICT人材の育成を実践するため、先端技術企業のラボを県立情報科学高校内に設置し、企業の実施する実証実験等に参加するほか、実践的なプログラミング学習やマーケティングの授業等での課題解決型学習を連携して行う。	高校教育課
23 子ども科学体験推進事業	32,545 (18,459)	小・中学生の科学に関する好奇心や探究心を育むため、学習機能を持った「体験型子ども科学館O-L a b o (オーラボ)」を設置し、企業・大学・高校と連携した科学体験講座を実施する。 【特】講座定員数の拡大に向けた拠点の移転 【特】サテライトラボ(地域拠点)での科学体験講座の開催(中津市、日田市、佐伯市) 【特】先端技術に関するシリーズ講座の開催(計5回) 【特】宇宙に関する講座や講演会の開催(ISTSプレイベント) など	社会教育課
24 特 女性の地域活動活性化支援事業	3,319 (0)	多様化する地域課題を住民主体で解決する仕組みをつくるため、地域づくりの実践に関する研修会の開催や女性リーダーの育成など、女性団体の活動の充実に向けた取組を支援する。 ・ワークショップ、実践発表等研修会の開催(2回) ・アドバイザーを活用したモデル地域事業(2地域)	社会教育課
25 新 外国人とのコミュニケーション拡大事業	3,450 (0)	多文化共生社会を実現するため、外国人に対して「迅速に、正確に、簡潔に」情報を伝える「やさしい日本語」に関する学習会や講座をモデル地区(別府市、中津市)で開催する。 ・地域住民向け学習会の開催(2回) ・公民館等でのワークショップ等の開催(1回) など	社会教育課
26 特 みんなでつくる文化活動推進事業	4,227 (0)	文化活動を通じた相互理解の促進及び障がいの有無に関わらず発表できる機会の創出のため、特別支援学校と県立高校の同世代交流を進め、作品の共同制作や共同展示を実施する。	文化課
27 特 スクールヘルスサポート事業	1,577 (0)	児童生徒の肥満の改善・予防を図るため、モデル地域において、学校と家庭、地域の医師会等の関係機関が連携して食習慣・生活習慣の改善等に向け取り組む。 ・モデル地域 日出町	体育保健課

事業名	令和2年度 当初予算額 (元年度7月補正後 予算額)	当初予算の概要	所管課
28 特 ラグビー競技普及振興事業	13,843 (0)	ラグビーワールドカップのレガシーとして、ラグビーの普及・競技人口の拡大を図るため、世界のトップコーチを招聘したラグビークリニックの開催やタグ・ラグビースクールの支援等を行う。 ・世界のトップコーチによるラグビークリニックの開催 ・九州タグラグビー交流大会の開催 ・世界の料理を給食で提供する「おおいたRWC学校給食ウィーク」の実施 など	体育保健課
29 学校部活動充実支援事業	40,163 (33,225)	教員の部活動指導にかかる負担軽減と経験者による指導の充実を図るため、公立中学校に部活動指導員を配置する市町村に対する助成等を行う。 ・公立中学校 122人 ・補助率 2/3 (国1/3 県1/3) ・県立高校 12人 ・総合型地域スポーツクラブとの連携に向けた実践研究	体育保健課
30 新 全国高等学校総合体育大会開催費補助事業	2,000 (0)	全国分散開催となる令和2年度の全国高等学校総合体育大会におけるフェンシング競技を開催するため、大分県実行委員会に対し経費の一部を助成する。 ・種目 フェンシング競技 ・開催予定日 令和2年8月9日(日)～12日(水) ・会場 昭和電工武道スポーツセンター(大分市)	体育保健課